

平成26年8月9日に みやざきけん こゆぐん たかなべちょう 宮崎県 児湯郡 高鍋町 から こゆぐん しんとみちょう 児湯郡 新富町 で
発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月9日06時30分頃に こゆぐん たかなべちょう しもながたに ちく 児湯郡 高鍋町 下永谷 地区 から こゆぐん しんとみちょう 児湯郡 新富町 のなか ちく 野中 地区 にかけて、突風により住家の屋根瓦の飛散、ビニールハウスの倒壊などの被害が発生しました。

本日(10日)宮崎地方気象台は突風現象の調査のため、職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性はあるが特定には至らなかった。

(竜巻の可能性を示す根拠)

- ① 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ② 被害や痕跡は断続的であるが帯状に分布していた。
- ③ 強い風はごく短時間であったという証言が複数あった。

(特定に至らなかった理由)

- ④ 屋根瓦等の飛散状況や被害の痕跡からは、風向分布に回転性や収束性がみられなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF1と推定した。

(根拠)

- ① 複数の住家の屋根瓦が飛散した。
- ② ビニールハウスの倒壊が複数あった。

* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。